

教育 つるおか

Tsuruoka Public Education Announcements Vol.21



2 0 2 4

令和6年9月1日

編集・発行／鶴岡市教育委員会事務局管理課
〒997-0346
山形県鶴岡市上山添字文栄100
電 話 0235-57-4861
FAX 0235-57-4886
メールアドレス kkyouiku@city.tsuruoka.lg.jp
<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/>



朝陽第五小学校の新旧校舎(ドローン撮影)。旧校舎解体を控え、二つの校舎が並ぶ貴重な一枚です。



遊具を備えた運動広場では、ボルダリングに挑戦できます。



体育館は、衝撃を吸収しやすく保温性の高い床材を使用しました。



通常より横幅が広がった普通教室。黒板はホワイトボードに変わりました。

P2

- ・鶴岡公園内に鶴ヶ岡城の歴史を伝える展示区画を整備
- ・山形小説家・ライター講座鶴岡出張講座

P3

- ・第2期鶴岡市スポーツ推進計画策定
- ・新潟地震から60年 被災者追悼式典

P4

- ・水泳授業での校外プール利用実証試験
- ・陸上競技指導研修会
- ・中央公民館、女性センターの生涯学習講座
- ・学校給食でおいしい麺を提供

朝陽第五小学校新校舎完成

～旧校舎への感謝と新校舎へ気持ち新たに～

老朽化により令和4年度から改築工事が始まった朝陽第五小学校の新校舎が、令和6年7月に完成しました。

旧校舎での学校生活は1学期終業式が最後。引っ越しを終え、2学期から児童は新しい教室で過ごしています。

これから、令和7年3月まで旧校舎の解体工事が行われます。

鶴岡公園内に鶴ヶ岡城の歴史を
伝える展示区画を整備

令和6年4月16日、鶴岡公園東側バス優先駐車場隣の一角で鶴ヶ岡城の歴史を伝える展示の公開を記念し、セレモニーと現地説明会を開催しました。現地説明会には26名の参加があり、教育委員会職員が整備内容や鶴ヶ岡城について説明しました。

今から遡ること3年、酒井家庄内入部四百年直前の令和3年11月、鶴岡公園を挟んだ裁判所側の道路整備工事の際、約30個の大きな石が発見されました。石のほとんどは散乱状態の中、一部整然と並んだ石が見つかり、城下絵図と照合したところ、その場所が鶴ヶ岡城二の丸大手前の馬出(※)の一部だと分かりました。さらに翌年、前回発見した箇所西隣で山形県による発掘調査が行われ、三の丸と馬出をつなぐ土橋の跡や多数の木杭が確認されました。

鶴ヶ岡城は

明治9年に取り壊され、土手が崩され堀も埋められたことから、馬出は絵図でしかその存在を



馬出遺構発見時の様子



現地説明会の様子

※馬出：城の出入口を塞ぐように前面に土塁や堀・石垣で囲んだ防御施設。

知ることができませんでした。そのためこの発見は話題となり、報道でも大きく取り上げられました。

出土石などは、鶴岡公園が攻城であつたことを示せるものであつたことから、本市の歴史を伝える展示として活用することとなりました。

令和4年度、市役所の若手職員12名が石の活用方法を検討し、令和5年度に鶴岡公園東側の一角を「出土状況を再現した展示」、「ノミで削った痕やクサビで割った痕が特徴的な石の展示」、「馬出の形を模したベンチ型のモニュメント」として整備を行いました。

この区画は休憩スペースにもなっており、今年の花見や天神祭でも多くの市民の皆様、観光客の皆様にご利用されました。本市の城下町としての歴史を直に感じることでできる場所ですので、お気軽にお立ち寄りください。

「山形小説家・ライター講座」
鶴岡出張講座を開催します
『エッセイ募集』

鶴岡は、文学の土壌が豊かな町として広く知られています。

古くは高山樗牛や田沢稻舟から始まり、芥川賞作家である丸谷才一、直木賞作家である藤沢周平、佐藤賢一もこの土地で生まれました(佐藤氏は現在、鶴岡を拠点として第一線で活躍されています)。さらに、横光利一は妻の生家がある鶴岡で作品を執筆し、弟子の森敦は庄内を舞台に多くの傑作を発表しています。

こうした文学の伝統のある鶴岡から新たな文学者が誕生することを願ひ、鶴岡市立図書館では平成28年から「山形小説家・ライター講座鶴岡出張講座」を開催しています。

そもそも「山形小説家・ライター講座」は、直木賞作家の高橋義夫氏の働きかけにより、平成9年から有志による自主講座として始まり、毎月1回(今年度は年10回)、第一線で活躍中の作家や評論家の方々に講師にお迎えし、講師兼司会である文芸評論家の池上冬樹氏と共に、前半は受講生が提出した作品(3〜4本)に対する講評、後半はトークショーという形式で構成されています。

鶴岡出張講座も山形と同じスタイ

ルで、こちらは年1回の開催ですが、池上氏の進行のもと、これまで三浦しをん氏、角田光代氏、村田沙耶香氏、中島京子氏、井上荒野氏、穂村弘氏、あさのあつこ氏、逢坂剛氏を講師にお迎えしてきました。

この講座の大きな特色は、受講者から作品を提出してもらうことで初めて成り立つことにあります。受講生が主体的に参加していることもあり、会場では、真剣に講師のアドバースに耳を傾ける姿が見受けられます。また、作家の方々の創作に関する生の声を聴く機会でもあり、作品を提出していない人にとっても読書の楽しみ方が喚起される機会になっているようです。

第9回を迎える本年は、10月5日14時から出羽庄内国際村に会場に、『負け犬の遠吠え』などの著者であるエッセイストの酒井順子氏を講師にお迎えして開催します。今回は酒井氏をお迎えするということからエッセイに限った応募を受け付けます。作品募集の締切は9月23日です。この機会に、作品を書き始めてみてはいかがでしょうか。

岡市立図書館 25-2525



第2期 鶴岡市スポーツ推進計画策定

本市では、今年3月に「第2期鶴岡市スポーツ推進計画」を策定しました。

市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、目的や志向に応じていつでもどこでもスポーツやレクリエーションに親しみ、健康でいきいきと明るく元気に生活を送り心通い合う地域をつくり上げていくことを目指して、基本目標に「生命(いのち)いきいきスポーツのまち鶴岡の創造」を掲げました。スポーツを実際に「する人」だけではなく、高いレベルの競技大会やプロのスポーツ観戦等スポーツを「みる人」、そして指導者やスポーツボランティアといった「ささえる人」にも着目し、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整えます。



詳しくはコチラ

「四つの基本方針と取組」

1. 市民の健康につながる生涯スポーツの充実

スポーツに親しむきっかけづくりとなるようなイベントの実施や、身近なところで気軽にスポーツやレクリエーションに取り組める環境を整えます。

2. 地域の活力となる競技スポーツの振興

地元選手の競技力や指導者の資質の向上に取組み、国際大会や全国大会で活躍できる選手を育成するとともに本市出身トップアスリートが地元で活躍できる好循環を目指します。

3. 充実したスポーツ施設の管理運営

現在、旧鶴岡病院跡地を活用して人工芝グラウンドの整備を進めています。今年3月に策定した整備基本計画に基づき、市民が多目的に利用できる環境づくりを進めるため、利用団体や庁内関係者との意見交換を通して基本・実施設計のもととなる詳細な内容を検討していきます。

4. 地域に関わるスポーツ環境の充実

暮らしの中で身近にスポーツに取り組める環境づくりのため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、体育協会などの活動を支援するほか、鶴岡の自然や文化に触れるイベントを通じ地域の活性化を図っていきます。

「新潟地震から60年 被災者追悼式典」

昭和39年6月16日に発生した新潟地震では鶴岡市も被災し、京田地区では3人の幼い命が失われました。地震発生から60年となる節目の今年6月、例年よりも規模を拡大して式典が執り行われました。追悼式では、お亡くなりになった御霊に対して追悼の意を表すとともに、安全・防災についての再認識と、かけがえのないいのちを慈しみながら生きることの大切さを学ぶ機会となりました。

当日は亡くなられた3人の遺族の方と京田小学校の児童に加え、栄保育園、ほなみ保育園の園児、そして多数の京田地区住民の方々から関係者が参列し、お亡くなりになった方々に祈りが捧げられました。

式典の中では、本間活人京田小学校長が、「60年前の新潟地震で亡くなられた尊い3人の御霊は、京田地区の人々の記憶の中、祈りの中に確かに生きています。そして、その3人は、私たちをいつも見守り、いのちを大切にすること、一生懸命に生きること、家族や友達、まわりの人々の命も大切にするなどの尊さを教えてくれているのです。」と話しました。

また、式の結びには、元京田小学校長でもある布川敦教育長から、

「当時亡くなられた方々は生きていればお孫さんに囲まれて過ごしていただろう、夢もあつただろうに、それが一瞬で消えてしまった。一つしかない命。大事な大事な命。自分の命は自分で守る。この地震をいつまでも忘れることなく、自分の夢と明るい未来を切り開いてほしい。」と、力強く伝えられました。

児童代表の佐藤柚希さんの言葉にもあるように、この追悼式典を通して、「当たり前の日々を過ごせる幸せ」を改めて実感するとともに、京田地区の方々の願いや心の温かさを「未来に向けて大切に受け継いでいこう」とする想いを確かめる機会となりました。



水泳授業の校外プール 利用実証試験を実施しました

小学校プール施設の老朽化に伴い、修繕費などのコストが上昇傾向にあることや、天候による授業中止のリスクも回避できることから、教育委員会では、昨年度より校外屋内プールの利用について検討を進めてきました。

令和6年度から、費用面や管理体制などへの効果や、安全でより良い水泳授業の実施方法を検証することを目的として、対象校2校（上郷小学校、西郷小学校）において水泳授業を県民の海・プール スパールで行う実証試験を実施しました。

この実証試験により得られた成果と課題を検証し、次年度以降の実施校拡大も検討していきます。



スパールでの授業の様子
（上郷小学校）

陸上競技指導研修会



ストレッチを紹介する
井村 久美子 氏



5月14日、鶴岡市小学校体育連盟主催の陸上競技指導研修会が、J A 鶴岡だちやアリーナで行われました。本研修会は、小学校教員の体育における指導力の向上を目的として、毎年実施しています。

講師は井村久美子氏（女子走り幅跳び元日本記録保持者・酒田市出身）で、大山小と大泉小の6年生へ、全身を使った準備体操や基本的な走り方を指導してくださいました。児童からは「どうしたら速く走ることが出来ますか？」などと積極的な質問があり、井村氏は腕の振り方や足の動かし方を実際に見せながら答えてくださいました。また小学校教員に対して、走るフォームやハードルの跳び方、走り幅跳びの指導法について、実演しながら丁寧に説明してくださいました。児童も教員も一流の技術に目を輝かせ、充実した研修会となりました。

「中央公民館・女性センター」 新しい出会い、学び、さあ始めよう 生涯学習講座

多様な学びを支援する生涯学習の拠点として、各種講座を実施しています。春季講座は、小学生から一般の方を対象に21の講座を実施しました。「学び」「作る」「運動」と内容に違いはありますが、参加者の皆さんからは、「素敵な作品が作れてよかった」「無理なく動けてよかった」「次は、何の講座が楽しみ」との声がありました。その中でもサークル共催講座は、現在活動しているサークルと協力して実施しています。講師の丁寧な指導とあわせて、会員と受講生が和やかに楽しむ姿もありました。

これからも、楽しく受講できる講座を企画していきますので、「やってみたい、そう思った時が始め時！」皆さんのご参加をお待ちしています。

中央公民館 女性センター
☎ 25-11050
☎ 24-2340



〈春季講座〉
シニアのためのパソコン講座



〈サークル共催講座〉
♪夏こそチャレンジ♪ゆったり楽しむフラダンス

学校給食でおいしい麺を提供 〜鶴岡産小麦を100%使用〜

生産・加工・流通・消費が地域内で循環する「スマート・テロワール」の一環で、鶴岡市産小麦を使用した麺を学校給食で提供しています。



令和4年度から、子どもたちに根強い人気のリャンパンメンにすべて鶴岡産小麦の「ゆきちから」で作った中華麺を使用しています。その大半を輸入に頼っている小麦ですが、地域で需要に応じた生産ができれば地域の活性化にもつながります。

また、昨年度には、鶴岡産小麦を使用し、庄内地方で昔から食べられている「麦切り」を初めて提供しました。郷土食でも、もう一品子どもたちの人気献立に仲間入りです。

今後も、学校給食を通して地域で作られた食材を食べる幸せを感じ、食を大切にする気持ちを育てていきたいと考えています。

※スマート・テロワール：地域の風土を活かしながら、耕畜連携、農商工連携、地産地消に取り組むことで形成される、持続可能な循環型農村経済圏のこと